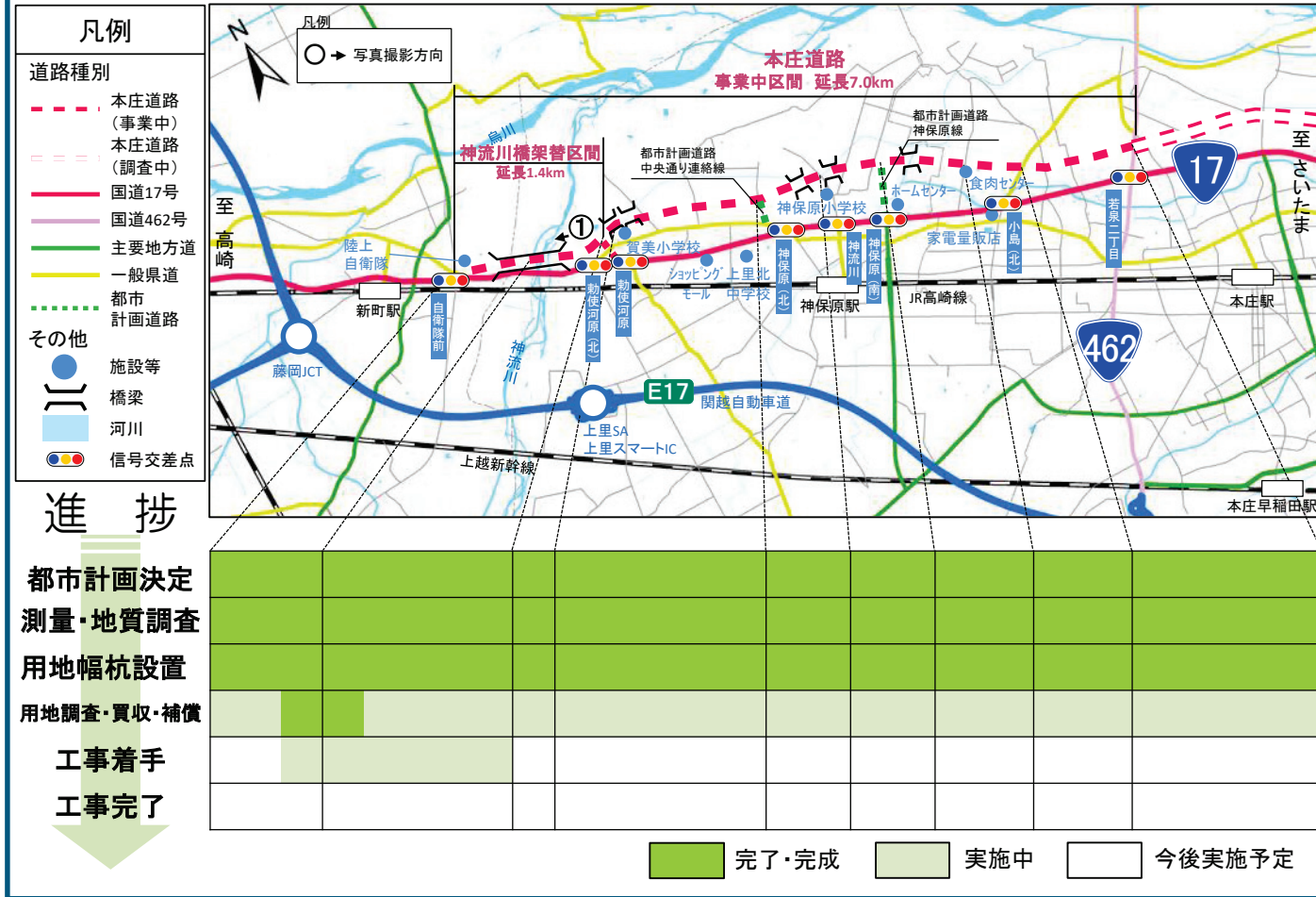


本庄道路の事業進捗



工事に関するトピックス

神流川橋の見透灯籠

上里は上州と武蔵の国を分ける神流川の渡し場になっていました。川には橋を架けない政策があったため、川の向こう岸に行くというは大変なことでした。このため、神流川の両岸には、旅人の道標として常夜灯が設けられました。夜に火を灯すと両岸がよく見透せたので、「見透灯籠」と呼ばれました。

- 上里町の見透灯籠
本庄宿の豪商であった戸谷半兵衛により、文化12年(1815年)に建立されました。現在は大光寺に移転されています。
- 新町の見透灯籠
専福寺住職と宿役人により発願され、旅人からも寄附を募り、文化12年(1815年)に建立されました。現在は諏訪神社参道入口に移転されています。

常夜灯レプリカの移設

現在、神流川橋の両端に設置されている常夜灯(見透灯籠)のレプリカは、平成4年に設置されました。旧橋撤去に伴い、新橋に移設する計画です。



大宮国道事務所のご案内



国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所
〒331-9649 埼玉県さいたま市北区吉野町1-435 TEL 048-669-1200(代表)

大宮国道ホームページ

<https://www.ktr.mlit.go.jp/oomiya>



本庄道路に関するページはこちら



本庄道路に期待される声



本庄市 吉田信解 市長

本庄道路は市街地の渋滞緩和のために必要不可欠な道路であり、一日も早い全線開通が望まれています。現在工事中の新たな神流川橋が令和4年に開通し、いよいよ本庄市内においても工事に着手されると発表がありました。本庄道路の整備が着々と進んでいることについて関係の皆様方には感謝申し上げます。

現在事業に未着手である深谷市岡までの区間についても大いに期待しており、早期事業着手に向け市としても全面的に協力していく考えです。



上里町 山下博一 町長

本庄道路について新たな神流川橋が令和4年内に開通の見通し、また本庄市内において令和2年度内に工事着手とのこと、上里町も全面開通に向け期待を寄せているところです。

本庄道路ができることで新たな人や物の流れが生まれます。上里町にとっても、また本庄道路近隣地域にとっても、地域の活力への大きな後押しとなることと考えております。また交通事故の減少、交通渋滞の緩和の効果も期待するところです。

本庄道路の開通に向け、より一層の協力・連携を進めて参りたいと考えております。



高崎市 富岡賢治 市長

念願であった新しい神流川橋により地域の防災・震災対応能力が格段に向上するとともに、渋滞緩和や交通事故対策、新たな開発など地域社会の更なる発展に寄与するものと考えております。

神流川橋をはじめとした本庄道路の工事の安全をご祈念申し上げるとともに、一日も早い開通を心より期待しております。

国道17号本庄道路神流川橋が令和4年に開通の見通しとなったことについて、地元自治体としても大変喜ばしいことと受け止めております。

国道17号
本庄道路ニュース

第4号

この度、本庄道路の新たな神流川橋が「令和4年内」に開通できる見通しとなりました。このことに対して、「本庄道路に期待される声」を頂いておりますので、ご紹介いたします。

発行：国土交通省 大宮国道事務所 計画課
協力：本庄市役所 都市整備部 道路管理課
高崎市役所 都市整備部 都市計画課

TEL 048-669-1205
上里町役場 まち整備課

